

2025年3月9日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第50号(通算3432号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切に**する**教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

丈夫な人に医者はいらないが、具合の悪い人には必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」  
を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)



レント(受難節)  
第1主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙祷)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞

詩編

91編 1-5節

始めの詞

賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1節) (©JASRAC)

消灯の詞

聖書

マタイによる福音書

4章 1-11節

お祈り

賛美歌 21-294番「ひとよ、汝が罪の」(©教団讚美歌改訂委員会)

メッセージ「つきまとう悪魔」

水谷 憲 牧師

賛美歌 21-284番「荒れ野の中で」(©教団出版局)

主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

献げ物(\*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福

水谷 憲 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

## 招きの詞 詩編 91 編 1-5 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 いと高さ方を隠れ場とする者は／全能者の陰に宿る。
- 2 私は主に申し上げる「わが逃れ場、わが<sup>a</sup>城／わが神、わが頼みとする方」と。
- 3 まことに主はあなたを救い出してくださる。 (脚注 a: 直訳「砦」)  
鳥を捕る者の網から／<sup>b</sup>死に至る疫病から。 (脚注 b: 直訳「破滅の」)
- 4 主は羽であなたを覆う。／あなたはその翼のもとに逃れる。  
主のまことは大盾、<sup>c</sup>小盾。 (c: 直訳「保護」「防壁」)
- 5 夜、脅かすものも／昼、飛び来る矢も／あなたは恐れることはない。

## レント (受難節) 始めの詞

イエス・キリストが死から引き起こされたイースターまでの日曜日を除く 40 日間を「受難節」と言います。この期間にはイエス様の生涯や死の意味を考え、イエス様に従うとはどういうことなのかを聖書から聴きます。クリスマスの前には毎週ろうそくの光を灯しました。レントの期間にはろうそくの光を消しながら礼拝します。神と人とを大切にされたイエス・キリストに思いを馳せましょう。

## 消灯の詞 (参照: マタイによる福音書 26 章 36-46 節)

弟子たちが「誘惑に陥らないように祈りなさい」とのイエス様の言葉に従えず、眠り込んでしまったことを思いながら、このろうそくを消します。

## 聖書 マタイによる福音書 4 章 1-11 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 さて、イエスは悪魔から試みを受けるため、霊に導かれて荒れ野に行かれた。
- 2 そして四十日四十夜、断食した後、空腹を覚えられた。<sup>3</sup>すると、試みる者が近づいて来てイエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」<sup>4</sup>イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』(申命記 8:2-4)と書いてある。」
- <sup>5</sup>次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の端に立たせて、<sup>6</sup>言った。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。『神があなたのために天使たちに命じると、彼らはあなたを両手で支え、あなたの足が石に打ち当たらないようにする』(詩編 91:11-12)と書いてある。」<sup>7</sup>イエスは言われた。「『あなたの神である主を試してはならない』(申命記 6:16)とも書いてある。」
- <sup>8</sup>さらに、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその栄華を見せて、<sup>9</sup>言った。「もし、ひれ伏して私を拝むなら、これを全部与えよう。」
- <sup>10</sup>すると、イエスは言われた。「退け、サタン。『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』(申命記 6:13)と書いてある。」<sup>11</sup>そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが近づいて来て、イエスに仕えた。

## 《先週のメッセージより》2025年3月2日

### 「大切にすることは何か」

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 6章 16-21節

今回のお話は「断食する時には」と「天に宝を積みなさい」の2つのお話でした。当時のユダヤ教では断食が日常的に行われていたようですし、最初期の教会の中でも断食が行われていたようです。現代の教会でも、今週から始まる「受難節」には、その始めと終わりに食事を1日1食にしたり、お肉を食べないようにしたりする教会もあります。ですが、ここでイエス様によって述べられていることは「断食をするかしないか」「どのようにするか」ということよりも、「もっと大切なことがある」ということのように思います。「断食するときには、偽善者のように暗い顔つきをしてはならない」(16)というのは、他人から「さすがだ、立派だ」と評価されることを求めて、またそれに満足しては本末転倒だ、ということでしょう。そもそもイエス様が語りかけられた相手の人たちは、「色々な病気や痛みに苦しむ者、悪霊に取りつかれた者、発作に悩む者、体の麻痺した者など、あらゆる病人たち」(4:23-25)でした。ですから、恐らく普段から定期的な断食なんて、とても出来ないような貧しい人たちでした。

「断食の形骸化」は、いつの時代でも常にあったことであり、イエス様の時代よりもずっと昔から預言者は批判していました。「6 私が選ぶ断食とは／不正の束縛をほどき、軛の横木の縄を解いて／虐げられた人を自由の身にし／軛の横木をことごとく折ることではないのか。7 飢えた人にパンを分け与え／家がなく苦しむ人々を家に招くこと／裸の人を見れば服を着せ／自分の肉親を助けることではないのか」(イザヤ書 58:6-7)。つまり、社会正義と社会福祉の両方の実践こそが、神様が全ての人に望まれている生き方として、「本当の断食なのだ」と記されています。後半の「天に宝を積みなさい」も、この言葉が語られた人たちが、宝も富も持っていなかった人たちであったということを知る必要があります。今、私たちが手にしている様々な物は、分かち合うために与えられた物であり、決して自分一人で握り締めるために与えられた物ではありません。本当に「大切なもの」とは一体何か。もうすぐ今年のレント(受難節)が始まります。約6週間にわたるレントの期間は、イエス様の受難、十字架の意味について思いを馳せるだけでなく、その生き様、生涯について考え、また私たちがイエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。神様が私たちに望まれている生き方、人も自分も互いの命を大切にし合い、後悔のないように生きられるように、私たちは今日も神様と共に、ここから導かれ、背中を押されて歩み出して行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年3月2日

礼拝出席 大人6名 献金 大人8,000円 中継視聴者数12回 感謝

◎次週 2025年3月16日(日) 受難節(レント) 第2主日礼拝

招きの詞 詩編 130編 3-4a節

聖書 マタイによる福音書 12章 22-37節

メッセージ 「実によって木を知る」牛田匡牧師

賛美歌 305番(©JASRAC)、298番(©編集委)、528番(©P.D.)、514番(©P.D.)

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を致します。どなたでもご参加ください。またこの活動のための献品や献金も歓迎いたします。

今年のレント(受難節・四旬節)は、3月5日(水)から4月19日(土)です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。



◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・「3・11東日本大震災」を覚えての礼拝や集会在今年も各地で行われます。本日9日(日)14時半から奥羽教区「東日本大震災14年を覚えての礼拝」がYouTubeでも配信されます。

[https://www.youtube.com/live/mDi2k4E\\_qvE?si=y-jfA0xxY5byMmgH](https://www.youtube.com/live/mDi2k4E_qvE?si=y-jfA0xxY5byMmgH)



3月10日(月)14時~16時に、大阪クリスチャンセンター2Fにて、大阪教区災害対策特別委員会主催「3.11震災14周年を覚える集い」が開催されます。礼拝の後、「石川県能登半島地震被災地調査の報告」があります。事前申込、参加費は無料です。ZOOMを利用したのオンライン参加も可能です。ZOOM参加を希望の方はミーティングID 840 0729 1040と、パスコード583489を直接ZOOMに入力してご参加ください。

翌3月11日(火)14時半から、東北教区主催「東日本大震災14年記念礼拝」が開催され、礼拝のライブ中継配信が東北教区Facebookページより配信され、視聴することができます。

<https://www.facebook.com/tohoku.kyoku>



◎公告

- ・3月23日(日)礼拝後に、臨時教会総会を教会堂にて開催します。議案は、担任教師辞任に関する件です。教会員の方は出席、もしくは「議決権行使書」の提出をご予定ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/16	牛田匡牧師	おにぎり支援
3/23	牛田匡牧師	臨時教会総会
3/30	水谷憲牧師	誕生者祝福式
4/6	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会

